

平成27年度 自己評価

・勝山愛和第四幼稚園

1、本園の教育目標

本園は、仏教の報恩感謝を建学の精神とし、就学前の教育保育機関として、教育保育要領に基づき、「いつも明るくありがとう」「背すじのぼして、姿勢よく」「よく考えて、ガマン強く」の教育方針の下、「豊かな心とたくましい身体」を育み、知、体、徳の三位一体の教育保育を通して、小学校以降の教育、生活の基礎、基盤を培う調和のとれた教育を目指す。

2、本年度、重点的に取り組む目標、計画

教育保育要領を踏まえて、本園の教育保育課程の内容を確認し、教職員の共通理解をはかり、本園ならではの教育保育を検討する。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
指導計画の作成に関して、教職員間の共通理解を図る。	教育保育要領、本園の教育保育課程の理解を推進し、それを保育に添わずように努めている。
園の状況を踏まえて、中長期のビジョンと計画を策定する。	本園に求められている社会的ニーズを検証し、その背景を踏まえて、中長期の具体策を検討している。
教育水準の向上のため、研修の充実を図る。	園内研修を定期的実施し、子供の姿について、話し合い、指導方法の工夫や、指導内容の緻密化し、教育保育力の向上に努めている。加えて、適切な外部の研修会にも参加の機会を確保し、教職員全体の資質向上に努めている。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

全教職員の自己評価を検証し、具体的な目標や計画の策定に資するよう努めている。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教職員の資質向上	学びあいの環境づくりに配慮し、適切、有効な指導助言により、意欲と責任感を引き出し、保育者としての生きがい、充実感を感じる職場環境の構築に努める。
情報公開の方法	園だより「はぐくみ」（毎月発行）、や「学園だより」（年8回発行）により教育保育活動情報の公開に取り組んでいるが、公開内容や方法を検討する。
指導計画の編成	日々子供の実態を仔細に検証し、指導計画を修正し、実態に即した指導計画の作成に努める。
保育環境の改善	施設、設備、教具、教材の点検と計画的な改善に努める。

6、財務状況

保育新制度の下での初年度であり、様々な問題がある中、学園全体としては、監事監査、公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

平成28年 3月20日

平成27年度 第二回
学校関係者評価委員会報告

勝山愛和幼稚園 自己評価・学校関係者評価実施規定に基づき設置した学校関係者評価委員会において、自己評価報告書（平成27年度）の内容として、学校関係者評価を実施しましたので、概要をお知らせします。

1. 開催期日

平成28年 3月 7日（月）11:00～11:30

2. 開催場所

天王寺都ホテル 5F 高取の間

3. 委員

番号	区 分	人数	所 属 等	備 考
1	卒園児保護者代表	6	卒園児保護者	出席
2	保護者	6	実行委員長	出席
3	総園長	1		出席
4	総副園長	1		出席
5	園長	1	勝山愛和第一幼稚園	出席
6	本部職員	2	事務局	出席

4. 委員からの意見と学校関係者評価委員会の評価

(1) 平成27年度自己評価報告書について

○評価項目の設定については、平成26年度同様に特に問題はない。

○自己評価をホームページ上に公開し、教職員や保護者に広く伝えていることは評価できる。

(2) 関係者の意見・評価

新制度の初年度とはいえ、事務量の増大はかなりの負担になったと思われるが、子どもたちの教育保育は、教職員の献身的な意欲、責任感のより評価に値する成果があったと思われる。

しかし、事務負担は今後の大きな課題になるとと思われるので、その軽減を行政に働きかける等、改善が望まれる。

各園の事業内容が相違する中で、全園の連携、協力により、勝山愛和教育の伝統を踏まえつつ、新制度の理念との調和を図る運営に努め、より高い教育保育を目指していることは評価できる。